

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、再発や転移を経験した患者のためのサポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た柏サポートグループと大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間147回開催し、延べ650人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。このほか、Zoomを活用した「オンラインサポートグループ」を毎月2回、年間20回開催し、延べ50人に提供した。

(イ) 第5回とわの会：令和5年10月21日(土)に事務所において、サポート事業に参加し、その後亡くなった患者の遺族に対するプログラムとして、第5回とわの会を開催し、3人が参加した。

(ウ) 就労相談事業

がん治療と就労の両立に向けたがん患者向けの就労支援として令和5年度より開催し、対面／オンラインで8回の相談にあたった。

(エ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族5人に対して対面／電話でアドバイスを行った。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①ヨガ講座を月2回、計21回開催、延べ146人が参加、②アロマセラピー講座を月1回、計9回開催、延べ31人が参加、③自律訓練法講座を月2回、計4回開催、延べ5人が参加、④コーラス講座(合唱団いきのちから)を月2回、計24回開催、延べ334人が参加、⑤令和5年度から新たに体操講座を年2回開催、延べ13人が参加、5種の講座合計60回開催、延べ529人のがん患者及び家族に対し提供した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) ジャパンキャンサーサバイバーズデイ 2023

日本対がん協会が主催し、がん患者・家族のために支援情報を提供するイベント「ジャパンキャンサーサバイバーズデイ 2023（令和5年6月4日（土）、於：国立がんセンター築地キャンパス）」にブース出展し、広く市民に対するがん啓発を行った。

(イ) 第30回全国地域安全運動豊島区民大会

豊島区と地元警察・防犯協会・町会連合会の共催で開催されたイベント「第30回全国地域安全運動豊島区民大会（令和5年10月6日（金）、於：帝京平成大学沖永記念ホール）」にて、当法人の「合唱団いきのちから」が招へいされ、豊島区民へのがん啓発を行う機会を得た。

(ウ) 令和5年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート2023

豊島区と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和5年度豊島区がん対策推進特別講演会」とがんサポートコミュニティー主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート2023」をジョイントさせ、令和5年12月18日（月）にとしま区民ホール小ホール（東京）にて池袋保健所の指導のもと感染症対策を講じて開催、100人が参加した。令和5年度豊島区がん対策推進特別講演会では講師の土屋淳郎氏（公益社団法人豊島区医師会会長）に「高齢者とがん—在宅医療と看取り」をテーマに講演いただいた。合唱団いきのちからコンサート2023ではがん体験者がソプラノ/アルト/テノール/バスに分かれ、童謡メドレー/心の瞳/ペチカ/クリスマスメドレー/銀河鉄道999の全5曲を合唱した。

(エ) 教育研修事業

将来、サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催により令和6年1月20日（土）～21日（日）にエーザイ東京コミュニケーションオフィス（東京）で実施され、24人が参加した。

(オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに寄付するチャリティマラソンとして令和6年2月25日（日）に大阪マラソン2024として開催され、チャリティランナー11人が参加した。2月23日（金）～24日（土）にインテックス大阪で開催されたEXPO2024では、ランナー3.2万人に対する「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動を実施した。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。19回開催し、24組が参加した。

(キ) ホームページ・SNSによるイベント等告知・活動報告

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために、ホームページ・SNSを活用したイベント告知・活動報告を行った（ホームページにおけるお知らせ掲載回数：年61回）。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修2023

日本対がん協会との共催、厚生労働省後援で、患者・市民参画に資する人材を育成するための研修「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修2023（令和5年10月8日（日）～9日（祝）、於：Lstay&grow 南砂町）」を開催した。がん患者・支援者・医療者・市民などに広く参加を募り、がん患者向けの食事、治療と仕事、治療とお金、緩和ケア、薬物療法、リハビリ、ピアサポート、第4期がん対策推進基本計画など、さまざまな角度で11の講座を提供し、158人が参加した。

(イ) 患者に関する意識調査

全国 20～80 歳のがん患者 700 人、がん患者家族 700 人、慢性疾患患者 700 人を対象に、医療従事者から入手した情報が理解できなかった、疑問があった場合、その解決に際して情報をどのように入手しているか、入手した情報に満足できたか等、インターネット調査 (RAKUTEN Insight) を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 27,226 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業:患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを実施。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	11人	がん患者・家族	650人	11,401
	サポート事業:Zoomを活用した「オンラインサポートグループ」を実施。	毎月1回	事務所	6人	がん患者	50人	
	患者交流事業:がん患者の遺族と交流する「とわの会」を実施。	10月21日	事務所	6人	遺族	3人	
	就労相談事業:患者に対し両立支援を目的にキャリアコンサルタントによる就労相談を希望に応じて対面/電話で実施。	随時	事務所	1人	がん患者	8人	
	医療相談事業:患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面/電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2人	がん患者・家族	5人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するヨガの指導を実施。	原則第1・3木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	146人	2,847
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導を実施。	原則第3金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	31人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法の指導を実施。	原則第1・2火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	5人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコースの指導を実施。	原則第1・3月曜日	南大塚地域文化創造館	4人	がん患者・家族	334人	

技術的 支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する体操の指導の実施。	随時	事務所	1人	がん患者 ・家族、 市民	13人	
普及啓発 活動事業	広く市民に対するがん啓発を目的とした「ジャパン・キャンサーサバイバーズ・デー 2023」に参画。	令和5年 6月4日	国立がんセンター築地キャンパス	6人	がん患者 ・家族、 市民	389人 (来場者)	5,720
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「第30回全国地域安全運動豊島区民大会」に参画。	令和5年 10月6日	帝京平成大学沖永記念ホール	3人	がん患者 ・家族、 市民	300人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした令和5年度豊島区がん対策推進特別講演会&がん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサート2023に参画。	令和5年 12月18日	としま区民ホール 小ホール	8人	がん患者 ・家族、 市民	100人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファンリレーター研修」を実施。	令和6年 1月20日 ~21日	エーザイ 東京コミュニケーション オフィス	5人	関東圏の がん専門 相談員	24人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」に参画。	令和6年 2月23日 ~24日	インテックス 大阪	0人	市民	32,000人 (来場者)	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則として 金曜日	事務所	4人	がん患者 ・家族	24人	
	YouTubeチャンネル運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	500人	
	ホームページ・SNS運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	10,000人	
	機関紙「News Letter」の発行。	随時	事務所	10人	がん患者 ・家族、 市民	300人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	1,000人	

普及啓発 活動事業	活動報告のための年次報告書の送付。	令和6年 3月	事務所	2人	賛助会員	90人	
調査研究及び 情報交換事業	患者・市民参画に資する人材育成のための「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修2023」を開催。	令和5年 10月8日 ~9日	Lstay&grow 南砂町	15人	がん患者 ・家族、 市民	158人	7,258

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				